



## 駐車場有料化のお知らせ(来訪者の方)

2026年2月16日(月)より  
駐車場の安全安心な利用を目的に  
カメラ式駐車場となります。



来訪者の方は マークの駐車場に駐車してください



### お支払方法選択

来訪者の方(患者さん・お見舞いの方を除く)は次の①または②のお支払方法をお選びください

お支払方法①  
ご利用時に精算機でお支払い

お支払方法②  
月額料金を大学にお支払い

### ① ご利用時に精算機でお支払い

入場から60分まで無料

※最初の60分を超えると  
通常の料金が加算されます。

入場から60分経過以降

**60分100円**

スマホ決済 2026年5月からご利用いただけます

場内掲示のスマホ決済用QRコードをご自身のスマホで読み取って精算ください  
ご利用いただけます機種方  
VISA  
MasterCard  
PayPay

### ② 月額料金を大学にお支払い

年間契約による  
月額料金 **1,000円**

※詳細は施設管理室へお問い合わせください  
TEL▶0853-20-2549  
受付時間▶平日 8:30 ~ 17:15

Shimane University Hospital  
島大病院ニュース

2026年  
2月  
Vol.148

# NEWS



## CONTENTS

中表紙

- ・医学部副学部長就任のご挨拶(人事管理及び財務担当)
- ・医学部副学部長就任のご挨拶(学部評価及び研究企画担当)
- ・駐車場有料化のお知らせ(来訪者の方)

裏表紙

表紙: 病院長補佐  
医学部薬理学講座 教授 和田 孝一郎





## 医学部副学部長就任のご挨拶 (人事管理及び財務担当)

精神医学講座 教授 いながき まさとし  
稲垣 正俊

日頃より当院をご利用いただいている患者さんをはじめ、地域の皆さまのご支援に心より感謝申し上げます。

私は2025年10月1日付で、島根大学医学部の副学部長（人事管理及び財務担当）を拝命いたしました。竹谷健医学部長のもと、本医学部が教育・研究・診療を通じて地域と共生し、持続可能な貢献ができるよう、その運営基盤の維持・発展に努めてまいる所存です。

島根県は豊かな自然や歴史、文化に恵まれる一方で、少子高齢化や人口減少といった深刻な課題にも直面しています。こうした地域の特性を深く理解し、人々の生活に真に寄与する医学部であり続けるためには、皆様の声に真摯に耳を傾け、変化に対応できる強固な経営基盤が不可欠です。

副学部長として私の役割は、予算や人的資源、施設環境をより効率的に活用し、最大の効果を生むための基盤を整備することにあります。出雲キャンパスの2,000名近い職員、学生がより円滑に教育・研究・診療に専念できる環境を整えることで、結果として患者さんには、より質の高い医療を、学生には豊かな学びを提供できる好循環を目指します。

その過程では、地域の皆様に多大なるご協力やお願いを申し上げる場面もあるかと存じますが、島根の持続可能で安心・安全な暮らしを守るために活動として、温かいご支援を賜れば幸いです。教職員一同が地域の人々の声を受け止め、自信を持ってその期待に応えられる医学部を目指し、誠心誠意取り組んでまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 医学部副学部長就任のご挨拶 (学部評価及び研究企画担当)

医学英語教育学講座 教授 いわた じゅん  
岩田 淳

このたび、医学部副学部長（学部評価・研究企画担当）を拝命いたしました、医学英語教育学講座の岩田淳でございます。これまで本学医学部において医学英語教育に携わってまいりましたが、10月よりは副学部長として、学部全体の教育・研究の質保証および将来に向けた研究企画にも関わらせていただくこととなりました。

学部評価および研究企画は、教育・研究の成果を客観的に振り返り、その質を継続的に高めていくための役割を担っています。医学教育の現場における日々の教育実践や研究活動が正しく評価され、次の教育・研究の発展へと着実につながるよう、分かりやすく透明性のある仕組みづくりに取り組んでまいります。

医学英語教育学講座ではこれまで、医療現場におけるコミュニケーション力の育成や、国際的な視点を備えた医療人材の養成に注力してきました。多様な背景を持つ患者さんや医療者が関わる現代医療において、「伝える力」や「相互理解の力」は、安全で質の高い医療を支える重要な基盤です。こうした視点を学部運営や研究企画にも活かし、臨床・教育・研究をつなぐ役割を果たしていくたいと考えております。

今後とも現場の声に耳を傾けながら、皆様とともにより良い医学部づくりに努めてまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。



問い合わせ先

精神医学講座 TEL:0853-20-2262

問い合わせ先

医学英語教育学講座事務室 TEL:0853-20-2341



島大病院ニュース 2026年2月

# お知らせ

## 肺癌に対する術前導入療法の進歩 ～切除不能癌が切除可能に～

呼吸器外科 診療科長 山根 正修

これまで根治不能と判断された進行肺癌も、当院では新しい薬物療法（分子標的因子、抗がん剤や免疫療法）、放射線治療と最新の手術技術を組み合わせた集学的治療による根治を目指しています。

**【心囊・左主肺動脈・左主気管支に浸潤するT4N2b肺癌に対し、左上葉ダブルスリーブ切除を施行】**

周囲組織への浸潤やリンパ節転移を伴う局所進行肺癌は、これまで根治が極めて困難でした。しかし近年、免疫チェックポイント阻害剤と化学療法を組み合わせた術前導入療法が急速に進歩し、治療成績が飛躍的に向上しています。当院では、プラチナ製剤にPD-1阻害抗体であるペムブロリズマブを追加した術前導入療法(KEYNOTEレジメン)を行い、術後もペムブロリズマブによる維持療法を実施する治療戦略を導入しました。

**【症例】閉塞性肺炎を合併した中枢型左上葉扁平上皮癌**

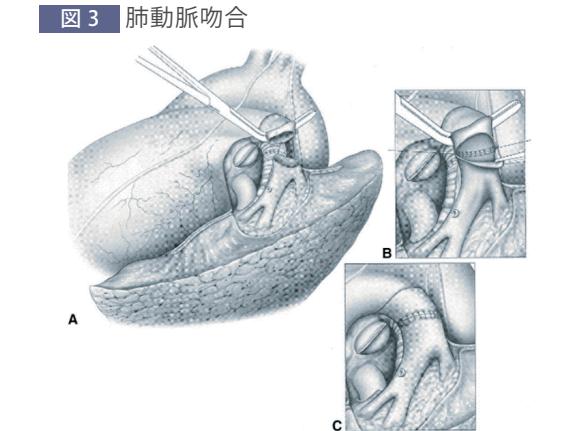
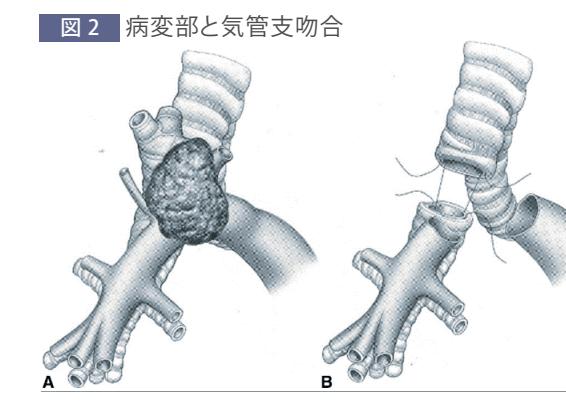
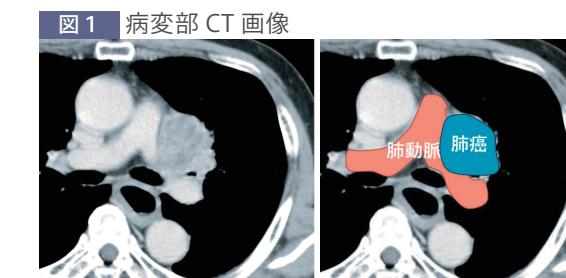
(原発巣S3、最大径70mm)

腫瘍は縦隔脂肪組織、心膜、左主肺動脈、左上肺静脈に浸潤していました(図1)。

臨床病期:cT4N2bM0 Stage IIIAと診断された症例に対し術前導入療法後に、呼吸器外科領域でも最も難易度の高い術式である左上葉ダブルスリーブ切除を施行しました。ダブルスリーブ切除とは肺全摘を回避するための高度難易度の肺温存手術です(図2、図3)。本症例では、腫瘍が左主気管支および左主肺動脈に浸潤していたため、気管支と肺動脈の両方を袖状(sleeve)に切除・再建しました。また、心膜浸潤を認めたため、まず「心膜内アプローチ(intra-pericardial approach)」を行い、心膜を切開して安全に血管処理を実施しました。

胸部疾患全般に対応しておりますので、診療のご相談が必要な患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひ当院へご紹介ください。

問合せ先 呼吸器外科医局 TEL: 0853-88-3090



島大病院ニュース 2026年2月

# ご報告

## ご報告

2026年2月 発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

SHIMANE FORUM

## 令和7年度地域相談支援フォーラムin 島根 「がん×災害」を開催しました

がん患者・家族サポートセンター センター長

がん専門相談員 (MSW)

田村 今岡  
けんじ さおり  
たむら 佐織

近年、全国で災害が頻発する中、医療現場では非常時にも、「がん医療を継続できる体制整備」が求められています。がん診療連携拠点病院等の整備指針では、感染症のまん延や災害時にも必要ながん医療を提供する体制の確保が明記されており、各病院でBCP(事業継続計画)の策定が進められています。

災害現場の状況を知り、がん患者さんへの必要な対応について、がん相談支援センター(当院名称「がん患者・家族サポートセンター」)ができる具体策とは何かを考えることを目的に、当院高度外傷センターや下条芳秀講師および、森山詠美子災害看護専門看護師に登壇いただき、令和7年12月13日(土)、WEBフォーラム「がん×災害～『もしも』に備え、がん相談支援センターができること～」を開催しました。

島根県内外から約50名の相談員が参加し、災害医療の基礎知識や現場報告、BCP策定状況、がん患者さんの声を共有し、自施設の課題や取り組みについて活発な意見交換が行われました。参加者からは「備えの重要性を再認識した」「院内連携や県との協議も必要を感じた」などの声が寄せられ、相談部門の取り組みを始めるヒントを得たとの意見も多くありました。

年明けの島根県東部を震源とする地震では、研修で学んだことが現実となり、日頃の備えの重要性を改めて実感しました。今回のフォーラムで得た知識とネットワークを活かし、がん患者さんとご家族が安心できる相談支援体制整備を進めてまいります。

問合せ先 がん患者・家族サポートセンター TEL: 0853-20-2518



高度外傷センター 下条芳秀講師



集合写真



島大病院ニュース 2026年2月

# ご報告

心理編

## データで読み解く患者満足度アンケート — 行動経済学が示すサイレントサービスの心理 —

患者満足度向上WG

医療情報部 准教授 河村 敏彦

2024年度の栄養治療室による食事アンケートでは、「食事内容」や「配膳サービス」に関する肯定的な声が多く寄せられました。一方で、魚の骨抜きやおかずの刻みなど、食べやすくする工夫が行われていたことを「知らなかつた」と答えた方が、半数を超えていました。つまり、サービスが足りなかつたのではなく、その工夫が十分に伝わっていなかつたことがわかります。

一般に、人は「得をした」よりも、「損をした」と感じることのほうを強く印象に残りやすいのです。患者さんがアンケート記入時に「魚の骨は抜いてもらえる」と初めて知ると、ありがたさよりも「知つていれば頼めたのに」という気持ちが残ります。同じ配慮でも、後から知ると、満足よりも損をした感じが強くなります。これが**損失回避**の心理です(図1)。

次に、**顯示性バイアス**です(図2)。人は、目に見えたり説明されたりした情報しか評価できません。どれほど丁寧な対応でも、伝わっていないければ「なかつたもの」として受け取られてしまします。つまり、食事サービスの価値は、提供された時ではなく、気づいた瞬間に決まります。これが行動経済学が示すサイレントサービスの心理です。

今後とも、患者さん一人ひとりがその配慮に気づき、安心してお食事を召し上がっていただけるよう、わかりやすい情報発信とサービス改善を通じて、さらなる満足度向上に努めてまいります。



図1 損失回避バイアス

図2 顯示性バイアス

問合せ先 医療サービス課 TEL : 0853-88-3401



島大病院ニュース 2026年2月

# ご報告

看護部長による

## 「ホンネトーク部屋」を開設しました! —看護職員が安心して声を届けられる新たな場—

看護部長

職場環境改善支援センター

かわかみ 川上 利枝  
かわむら としひこ 河村 敏彦

看護部では2025年12月より、看護部長が看護職員の声を直接聞く「ホンネトーク部屋(匿名一対一相談室)」を開設しました。月2回、匿名で相談できる場として設けており、日々の悩みや不安、業務や職場環境に関する率直な意見を、安心して話せる取り組みです。

これまで当院では職員満足度アンケートや職場環境改善支援センターを通じて現場の声を把握していましたが、忙しさや人間関係、役割負荷といった言葉にしにくい内容は本音が届きにくい側面がありました。こうした背景から、「まずは安心して話せる場をつくること」が重要と考え、本取り組みが始まりました。

相談内容にはすぐに解決できない課題も想定されますが、誰かに話し、受け止めてもらえることで、心が軽くなったり、考えを整理できたりするなど、**心理的安全性**を高める効果が期待されます。

医療を支えるのは人であり、働きやすさや安心感はケアの質にも直結します。ホンネトーク部屋は職員が**孤立しないための基盤**を整える取り組みであり、働き方改善を進めるうえでも大切な役割を果たします。

今後は寄せられた声を職場全体の改善点として整理し、必要に応じて制度や教育に反映していく予定です。看護部では、現場と管理部門がより近い関係でつながる風土づくりを目指し、この取り組みを継続してまいります。

問合せ先 看護管理室 TEL : 0853-20-2478



写真:ホンネトーク部屋(看護部長室)



2026年2月 発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課  
TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



2026年2月 発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課  
TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2026年2月

# ご報告

## ワークライフバランス週間応募作品の表彰式を行いました

### ワークライフバランス支援室

当院のワークライフバランス支援室は、例年「ワークライフバランス週間」の啓発活動の一環として、ワークライフバランスをテーマとした作品の募集を実施しており、今年度も「WLB 川柳」及び「私の働く源写真」をそれぞれ募集しました。

今回も多数の応募の中、優秀作品の選出を職員投票及び病院長、医学部長等により行い、その後 12 月 22 日（月）に「WLB 週間応募作品表彰式」を開催しました。仕事や家庭に関する作品のほか、昨今の世相や流行を想起させる作品が多く寄せられました。

当日は受賞者のほか、プレゼンターとして椎名病院長をはじめ、各副病院長、副学部長及び病院長補佐、事務部長も列席し、賑やかに行われました。

「ワークライフバランス」は、働き方改革やテクノロジーの進化とともに、より創造的で自由な形へと進化しています。当支援室では今後も、一人ひとりのライフスタイルに寄り添いながら、未来を見据えた働き方と共に考え、取り組んでいきたいと思います。



ワークライフバランス週間表彰式集合写真

優秀作品一覧(川柳)		
賞名	受賞作品	ペンネーム(又は氏名)
椎名病院長賞	バランスを 取った仕事と 欠く体形	おばば
大野副病院長賞	初めての 推し活始め 意欲わく	そうこう
田邊副病院長賞	むすこには ふりまわされる いつまでも。。。 すぐのど	
金崎副病院長賞	「もう少し」 家路につけない 思い腰	はちみつと紅茶
渡部病院長補佐賞	明けの朝 日勤来ると 安堵感	うめ
管野病院長補佐賞	父になり 初めて分かった 親のAI	アサイーおじさん
一瀬病院長補佐賞	推し事に 時間を使い 仕事頑張る	お葉亭
石原病院長補佐賞	老いていく 母の笑顔の 愛おしさ	息子の思い
矢野病院長補佐賞	口角を 上げて気持ちも 上向きに	めめもも
坂本病院長補佐賞	単身で やぐもに乗り込み 涙する	わーぐまん
日高病院長補佐賞	気になって 家で寝ても 脳内業(ノイエイ)	みいちゃん
石村病院長補佐賞	職場(食場) 荒れ バランス崩れ 隙(隙)が出た	たまぐま
和田病院長補佐賞	多種多様 家も仕事も グローバル	カメレオン
長井病院長補佐賞	育休中 超勤多いが みな笑顔	やっぱり犬
林田病院長補佐賞	日暮れ前 帰ると家族の 顔も見え	ママレベル5
河村病院長補佐賞	弁当と プレゼン資料 同じ熱	アラーム・メカ太郎
森田特別副病院長賞	今日もまた 誰かの笑顔で 報われる	夜勤明け看護師

問合せ先 総務課人事・労務管理担当 TEL : 0853-20-2010

優秀作品一覧(働く源)		
竹谷医学部長賞	いとしのチーママ	青い絨毯のよな 木モチフ嬢が荷物でした。
川上副病院長賞	ベンネーム すし太郎さん	ベンネーム ス。さん
岩田副医学部長賞	ヘルメットの中は最高のストレス発散場所です。景色を見ながら大声で叫び、カラオケし放題!	愛車ヒライで島根の自然をパックに息抜き&充電。
鈴木病院長補佐賞	ベンネーム 二輪番さん	ベンネーム ヒヨビヨハニックさん
稻垣副医学部長賞	15歳と9ヶ月。走れずとも、見えざるも知らず元気(((o(*・。・)o)))	スキルアップセンターから本部等へ向かう廊下の窓の外(2階!!)に不定期に出現するベンネーム 定時でカエルさん
林病院長補佐賞	ベンネーム seaさん	我が子ならではの回答に疲れた仕事帰り後で笑みがこぼれました。跡です!!!
山崎副病院長賞	達藤 進一さん	ベンネーム さんちゃんさん
近藤病院長補佐賞		



島大病院ニュース 2026年2月

# ご報告



サンタさんへの質問コーナー



プレゼント

## うさぎ保育所にサンタクロースがやってきた!

総務課総務係

12月25日(木)、うさぎ保育所でクリスマス会を行いました。

子どもたちは朝から「サンタさんに会えるかな?」と、わくわくした様子。

クリスマス会が始まり、キャンドルルサービスや演奏会で楽しい時間を過ごしていると、部屋の外からリンリンリン・・となにやら鈴の音が!その音とともに、ついにサンタさんの登場です。

子どもたちの興奮が続く中、サンタさんを囲んでの質問コーナーが始まりました。

「おもちゃはどうやって作っているの?」「どうして服は赤いの?」「ここまでどうやって来たの?」「サンタさんはどこに住んでいるの?」と、目を輝かせて話す子どもたち。さらには保育園の先生からもするどい質問が飛び出しましたが、全ての質問に丁寧に答えてくれたサンタさんでした。



サンタさん登場!

その後は、各クラスにサンタさんが訪問し、プレゼントを手渡してくれました。

記念撮影をしたり、サンタさんとお話をしたりと、笑顔溢れる時間となりました。

最初はサンタさんを見て涙する子もいましたが、最後には「ありがとう!また来てね!」と、来年の再会を心待ちにする子どもたちでした。

問合せ先 総務課総務係 TEL : 0853-20-2015・2016





島大病院ニュース 2026年2月

# ご報告



## 子どもたちに笑顔を届けるクリスマスプレゼント

小児科 診療科長

病棟保育士

チャイルドライフスペシャリスト 黒崎あかね

たけたに たけし  
竹谷 健  
つばき あつみ  
椿 敦美  
くろさき あかね  
黒崎あかね

12月は小児病棟に、たくさんのサンタさんがやってきました。

クリスマスの寄付として、入院生活を送る子どもたちへ素敵なおもちゃや絵本が数多く寄せられました。

プレゼントを受け取った子どもたちは箱を開ける瞬間から笑顔いっぱい。7歳の女の子は「これ全部遊んでいいの?」と、目をキラキラさせながら話し、すぐにお気に入りのおもちゃで遊び始めました。病棟には子ども同士が仲良く遊ぶ姿や、親子で笑顔を交わす光景が広がっていました。保護者からは「毎年プレゼントしてくれると聞いてびっくりしました。ありがとうございます」と、お声をいただきました。

寄付してくださった皆さまの思いやりが、子どもたちにとって忘れられないクリスマスの思い出となりました。温かいご支援に心より御礼申し上げます。



※写真のおもちゃは寄付の一部です

問合せ先 小児科 TEL : 0853-20-2220



島大病院ニュース 2026年2月

# ご報告



## 全国国立大学放射線技師会 第29回オータムセミナーを開催しました！

放射線部 診療放射線技師長

みやはら よしのり  
宮原 善徳



オータムセミナー 1日目の様子



オータムセミナー 2日目(グループワーク)の様子

去る12月5(金)、6日(土)に、島根大学が当番校として全国国立大学放射線技師会のオータムセミナーを開催しました。本セミナーの目的は、全国の国立大学病院から中堅(主任)の診療放射線技師が集まり、最新情報を共有しながら放射線診療における課題等を議論することです。

今回のテーマを『大学病院のミッションについて考える』とし、シンポジウムでは『臨床に基づく研究・発表の進め方と若手への教育について』のタイトルの下、現場で活躍している4名のシンポジストの講演に引き続き、研究を通じた大学病院のブランド力や医療の質向上にむけて、活発な討論や意見交換を行いました。また、特別講演として、文部科学省医学教育課大学病院支援室からも山本峻太病院第二係長に『大学病院を取り巻く諸課題について』のご講演いただき、大学病院の厳しい財政を理解したうえで、文部科学省としても様々な工夫を試みていることをお示しいただきました。お話を後に山本峻太病院第二係長は「現場の要望をぜひ聞かせてほしい」とおっしゃっていただき、各大学病院の現状や課題を説明したり、文科省に取り組んでほしいことを具体的に述べる参加者もあり、自由な雰囲気でお話をする機会が得られました。

セミナー2日目は医療安全を考える場として、当院医療安全管理部の深見教授のご指導でグループワーク『チームでの“働き方”を考える(チームステップス研修)』を行いました。参加者は与えられた課題を解決すべく、グループ内で役割分担し、積極的に話し合うと共に協働し課題を解決していました。

70名の参加者は今まで以上に交流を深め、盛況のうちに閉会することができました。ご協力いただきました講師の先生方をはじめ全ての関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

問合せ先 放射線部 技師長室 TEL : 0853-20-2443



2026年2月 発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課  
TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063

◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



2026年2月 発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課  
TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063

◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2026年2月

# ご報告



## 世界早産児デーイベントを開催しました！

総合周産期母子医療センター（NICU/GCU） 病棟保育士/医療保育専門士

医療機器診療支援センター

薬剤部

臨床工学技士

薬剤師

たけうち こずえ  
竹内 梢  
はせがわ りょうま  
長谷川 龍馬  
ほんごう まさふみ  
北郷 真史

毎年11月17日は世界早産児デーの日です。各国および各地域を象徴する建物や遺跡を多様性と思いやりを表す紫色にライトアップしたり、小さく生まれた赤ちゃんとその家族が抱える課題や負担に対する理解を深めるため啓発活動を行っています。

今年度、当院 NICU と GCU のスタッフは、しまねリトルベビーサークル縁さんと共に【ちいさく生まれた赤ちゃんの写真展】を出雲市役所にて初開催しました。また、県内5か所【しまね海洋館アクアス、日御碕灯台、NHK 松江放送局塔、山陰中央テレビジョン放送 (TSK) 本社、山陰合同銀行本店】でのライトアップも同時開催しました。写真展とライトアップにご協力いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

さらに、当院正面玄関ホールに、保育器や呼吸器、シリンジポンプを展示して保育器の中にいる赤ちゃんの温度を体験できるコーナーを設けました。また、今年は、薬剤展示スペースも新たに設置しました。イベントに参加した方からは「ドラマの世界だと思っていたけど、身近でもこのような現場があることを知りました」「保育器の中は温かいですね」「未熟児と正期児と成人で薬の量が比べてあり、分かりやすかったです」などの感想をいただきました。

世界中では10人に1人の赤ちゃんが早産で生まれています。赤ちゃんとご家族が生涯にわたって健康に、そして心豊かに過ごせる社会になるよう、今後ともご支援ご協力のほど、よろしくお願い致します。

問合せ先

総合周産期母子医療センター TEL : 0853-20-2573

[smu-cpmc@med.shimane-u.ac.jp](mailto:smu-cpmc@med.shimane-u.ac.jp)



今年初の薬剤展示



地域の皆さんから  
心強いメッセージを  
もらったよ!



保育器の中の  
赤ちゃんを体験中!



市役所での写真展

